

レジメンオーダー登録確認表

登録NO. 10h

登録年月日
2016/10/3

診療科	氏名	印	がん種	レジメン名称 (略号)
確認 外科	部長：古池 真也		神経内分泌癌	CDDP + CPT-11 (適応外)
作成/確認 薬剤部	藤井友和/西川隆一・辻博幸	/	1クール 28 日間	標準施行回数：有効時継続

薬剤名	略号	投与量	投与方法	投与時間	投与日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31		
イリノテカン	CPT-11	60 mg/m ²	点滴静注	90分			↓						↓							↓																↓		
シスプラチン	CDDP	60 mg/m ²	点滴静注	2時間			↓																														↓	

Rp	補液 (名称・用量)	薬剤名・用量	投与速度等
<1日目>			
1	ソルデム 3A 1500mL		6時間 (メイン)
2	ゲラネトロン 3mg/100mL	アロカス 1V + テキサト 3.3mg 3A	30分 (側管)
3	生理食塩液 50mL	フラッシュ + プレメディ時間調整用	30分 (側管)
4	生理食塩液 250mL	イリノテカン 60mg/m ²	90分 (側管)
5	生理食塩液 250mL	シスプラチン 60mg/m ²	2時間 (側管)
<8日目、15日目>			
6	ゲラネトロン 3mg/100mL	テキサト 3.3mg 2A	30分
7	生理食塩液 250mL	イリノテカン 60mg/m ²	90分
8	生理食塩液 50mL	フラッシュ用	適宜
10			

特記事項	
休薬・減量・中止基準	減量・休薬：Grade2以上の血液・非血液毒性 中止：Grade3以上の血液毒性およびGrade3以上の過敏症
主な副作用とその対策	<ul style="list-style-type: none"> ・悪心嘔吐：NK₁拮抗薬+5HT₃拮抗薬+ステロイド[®]の前投薬 ・腎障害：輸液 (2,000mL~3,000mL) ・急性下痢：抗コリン薬 ・遅発性下痢：ロペラミド+半夏瀉心湯
注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・遅発性の下痢に対し乳酸菌製剤の投与は避ける ・イリノテカンはUGT1A1遺伝子多型の検査結果をもとに投与量を設定すること (*6もしくは*28のホモ接合体および複合ヘテロ接合体の場合は50%に減量し、ヘテロ接合体の場合は70%に減量することを考慮)
主要文献	・Kulke MH, et al. Dig Dis Sci 2006; 51(6): 1033-38.

レジメンオーダー登録確認表

登録NO. 11h

登録年月日

2016/10/28

	診療科	氏名	印	がん種	レジメン名称 (略号)
確認	外科	部長：古池 真也		神経内分泌癌	GDDP + VP-16 (適応外)
作成/確認	薬剤部	藤井友和/西川隆一・辻博幸 ・澤柳直樹	/	1クール 2 1 日間	標準施行回数：有効時継続

薬剤名	略号	投与量	投与方法	投与時間	投与日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
イトポシド	VP-16	100 mg/m ²	点滴静注	2時間		↓	↓	↓																													
シスプラチン	CDDP	80 mg/m ²	点滴静注	2時間		↓																															

Rp	補液 (名称・用量)	薬剤名・用量	投与速度等
<1日目>			
1	ソルデム 3A 1500mL		6時間 (メイン)
2	ゲラニセトロン 3mg/100mL	アロカリス 1V + テキサト 3.3mg 3A	30分 (側管)
3	生理食塩液 50mL	フラッシュ + プレメディ時間調整用	30分 (側管)
4	生理食塩液 500mL	イトポシド 100mg/m ²	2時間 (側管)
5	生理食塩液 250mL	シスプラチン 80mg/m ²	2時間 (側管)
<2日目、3日目>			
6	ゲラニセトロン 3mg/100mL	テキサト 3.3mg 2A	30分 (側管)
7	生理食塩液 500mL	イトポシド 100mg/m ²	2時間 (側管)
8	生理食塩液 50mL	フラッシュ用	適宜
10			

特記事項	
休薬・減量・中止基準	減量・休薬：Grade2以上の血液・非血液毒性 中止：Grade3以上の血液毒性およびGrade3以上の過敏症
主な副作用とその対策	・悪心嘔吐：NK ₁ 拮抗薬+5HT ₃ 拮抗薬+イトポシドの前投薬 ・腎障害：輸液 (2,000mL~3,000mL)
注意事項	・イトポシドは溶解時の濃度により析出することがあるので、0.4mg/mL以下の濃度になるよう調製すること ・イトポシドの析出までの時間は、0.4mg/mLでは24時間以上だが、0.6mg/mLとなると最短6時間という報告がある
主要文献	・Fjallskog ML, et al. Cancer. 2001; 92(5): 1101-07. British Journal of Cancer (1999) 81(8), 1351-1355